

【詐欺的サイトで被害に遭わないための事前の対処法】

近年、ネット通販で詐欺的サイトによるトラブルが急増しています。「有名ブランド品が激安！」などの謳い文句に誘われ、代金を振り込んだのに商品が届かない…商品が届いても偽物の粗悪品だった…などのトラブルが増えています。最近は日常生活雑貨品も含め、商品が多岐にわたっています。被害に遭ってしまった後の返品や代金の回収は困難を極めるため、申込み前に信頼できるサイトかどうかをよく確認することが大切です。

こんなサイトには注意！【怪しいサイトの見分け方】

The screenshot shows a website interface for a product. Annotations point to several suspicious features:

- URL が不自然。** (URL is unnatural.)
- 会社概要がない。会社名が特定できない。** (No company overview. Company name cannot be identified.)
- 連絡先が不明。住所・電話・責任者などが記載されていない。** (Contact information is unclear. Address, phone, and responsible person are not listed.)
- 一般に流通している価格より大幅に安い価格になっている。** (Price is significantly lower than the general market price.)
- 字体(フォント)に通常使用されない旧字体が混じっている。** (Old-style fonts are mixed in, which are not typically used.)
- 外国語を直訳したような日本語として不自然な表現である。** (Unnatural Japanese expressions that appear to be direct translations of foreign words.)
- 日本の住所が記載されていても明らかに架空である。** (Even if a Japanese address is listed, it is obviously fictitious.)
- 問い合わせ用のEメールアドレスがフリーメールアドレス。** (The email address for inquiries is a free email address.)
- 電話番号が携帯番号や日本には存在しない番号。** (The phone number is a mobile number or a number that does not exist in Japan.)

詐欺的サイトで被害に遭わないために注意すべき6つのポイント

1. 安心して利用できるECサイトかをチェック。
所在地や電話番号、他の利用者の評価など事業者の情報を自分でしっかり確認することが必要です。
2. 一般に流通している価格より大幅に安く販売されている場合は注意が必要。
模倣品か、詐欺的サイトである可能性があります。
3. クレジットカード払いで申し込んだのに、後日メールが送られてきて振込みによる前払いを要求された。
4. 振込先の支店が通販会社の所在地と異なる。あるいは振込先が法人名ではなく個人の名義になっている。
5. 少しでも怪しいサイトと思ったら、記載の連絡先に電話してみることをお勧めします。
電話が通じない場合は要注意です。
6. 最近では実在するサイトを模倣して、あたかも本物のサイトであるかのように消費者を誤認させるケースが頻発しています。
そのようなケースでは、電話番号もコピーされている場合もあり、本物のサイトと区別が付きにくくなっています。
電話番号が表示されている場合は、電話をかけてURLも併せて確認する必要もあります。

利用したサイトが詐欺の疑いがある場合は、ご自身でサイバー犯罪相談窓口（警察）に相談したり、代金を振り込んだ金融機関にトラブルの状況を伝えてください。